

令和3年度第2回調査・研究委員会 会議録（概要）

◇日 時 令和3年9月14日（火）10：00～11：45

◇場 所 オンライン開催

◇出席者 柳楽委員長、嶋田副委員長、加藤委員、林委員、山本委員、清原委員
事務局（田貝、伊藤、治部、竹内）

1 開 会

- ・委員長あいさつ
- ・異動による事務局員の変更・自己紹介

2 報告事項

- ・現在の検討（進捗）状況について

個別打ち合わせの結果をまとめたセミナー企画書（資料1）及びアンケート調査計画書（資料2）について事務局から説明の上、質疑応答を行い進捗状況の共有を図った。

⇒アンケート調査の依頼先（首長部局・教育委員会）、回答の取りまとめ方法等の詳細については、個別に詰めていく。

3 協議事項

（1）公文書館機能普及セミナーについて

資料3を基に企画の詳細について協議・決定を行った。

ア 企画詳細について

[決定事項]

（ア）開催日 令和4年2月8日（火）

（イ）会 場 オルガホール（岡山市北区奉還町1-7-7 オルガビル地下1階）

（ウ）名 称 2021年度公文書館機能普及セミナーin岡山

（エ）全体テーマ （仮）地域の歴史を後世に伝えるために

（オ）基調講演

- ・テーマ：別途講師より
- ・講 師：辻川 敦 氏（尼崎市立歴史博物館）

（カ）事例報告1

- ・倉敷市の事例を報告することは可能。
- ・岡山県（岡山県立記録資料館）にも事務局の考え（開催地である岡山県の事例として倉敷の事例を報告してもらうこと）を伝えて意見を聞いてみることにする。（岡山県確認済み・・・了解）

（キ）事例報告2

報告者は嶋田副委員長と飯島氏の2名とする。（飯島氏、了解済み）

（ク）全体の構成・タイムテーブル

シンポジウムの時間を15分延長して40分とし、終了時間を後ろにずらす形で整理。

イ 準備スケジュールについて

参加者の募集開始は令和3年12月を予定。募集チラシを作成し、案内する。

ウ 新型コロナウイルス感染症対策について

(ア) 募集人数（会場参加者数）

- ・新型コロナウイルス感染予防対策マニュアルに基づき、現状での会場参加人数は会場収容人数の半分以下を想定。今後の状況により最終決定する。

(イ) ハイブリッド開催等開催方法の検討

- ・初の試みとなるため、現地実施と組み合わせる具体的な方法については、オンラインや録画放送などさらに検討を重ねる必要がある。今年度、全国大会のオンライン開催が決定しており大会・研修委員会との情報交換を含め、会場のデジタル環境や機材など検討材料を収集し、準備を進める。

(2) 災害対応活動について

〈事務局からの問題提起〉

第1回1委員会では地震の確認基準について検討したが、近年増加する水害については確認基準がない中、どのような場合に、どんなタイミングで被害情報の収集をするのか等苦慮している。皆さんの意見をお聞きしたい。

〈委員の主な意見〉

- ・地震の場合は建物損壊による長期的な漏水被害等が予想されるが、風水害は浸水被害に限定される。過去の例を挙げれば、報道等で官公庁の直接被災情報が判明した場合は、FAXで文書レスキューの支援を提示して、被害施設や被災自治体から支援依頼があった場合に対応したことはある。
- ・災害発生後の状況把握も必要だが、年度初めに被災により支援が必要な場合の支援要請について事前アナウンスをしてはどうか。

〈協議結果〉

当面、今までどおり報道等から被害状況の確認が必要と認めた場合に聞き取りを行うこととし、事例を積み重ねる中で問題点等を整理し改めて協議することとする。

4 その他

(1) 次回開催日程等

- ・第3回委員会は別途日程調整し、11月下旬までに開催する。
- ・それまでの間、事業別の個別打ち合わせで詳細をつめていく。
- ・災害対応についても、担当の林委員と事務局で個別打ち合わせを今後実施する。

5 閉会

以上